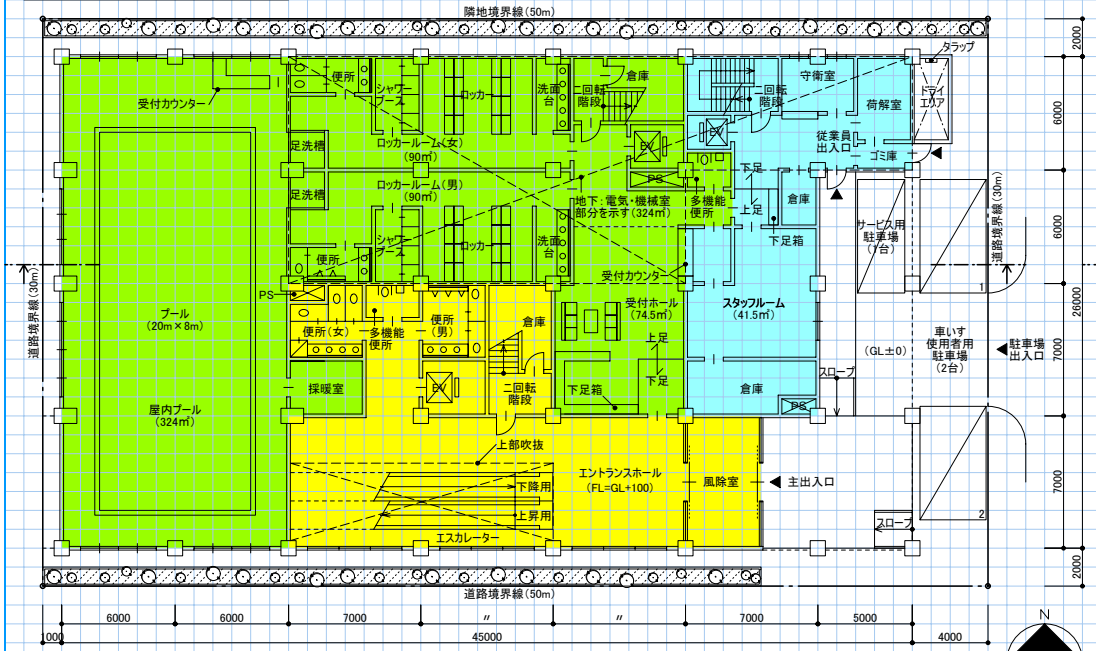
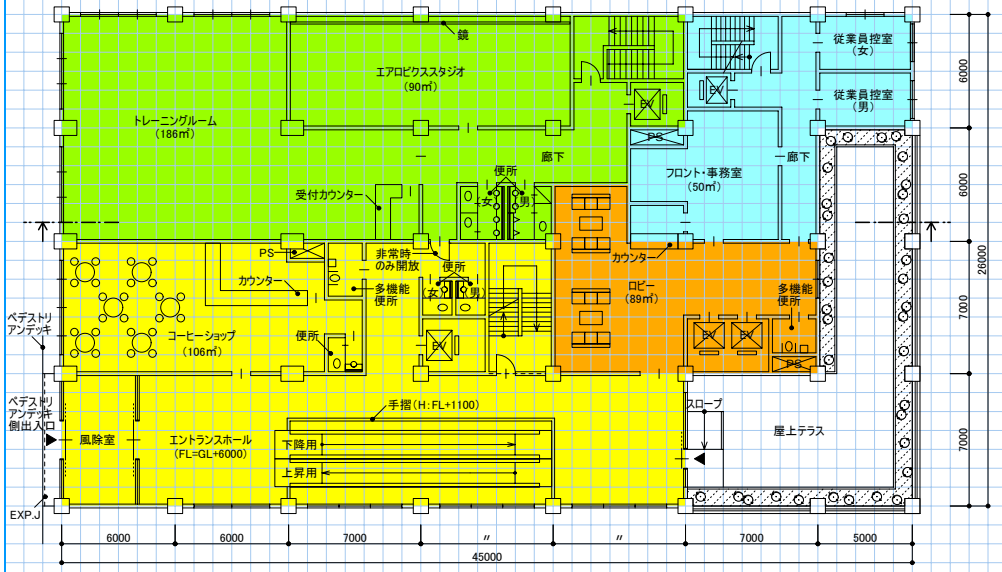
一級建築士　設計製図課題　答案用紙

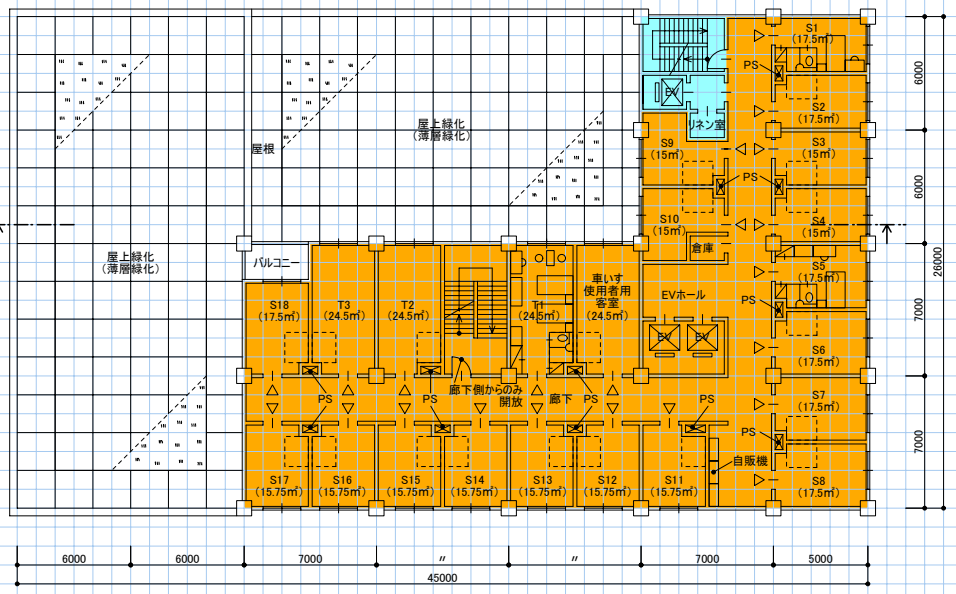
(1)1階平面図兼配置図(縮尺1/200)



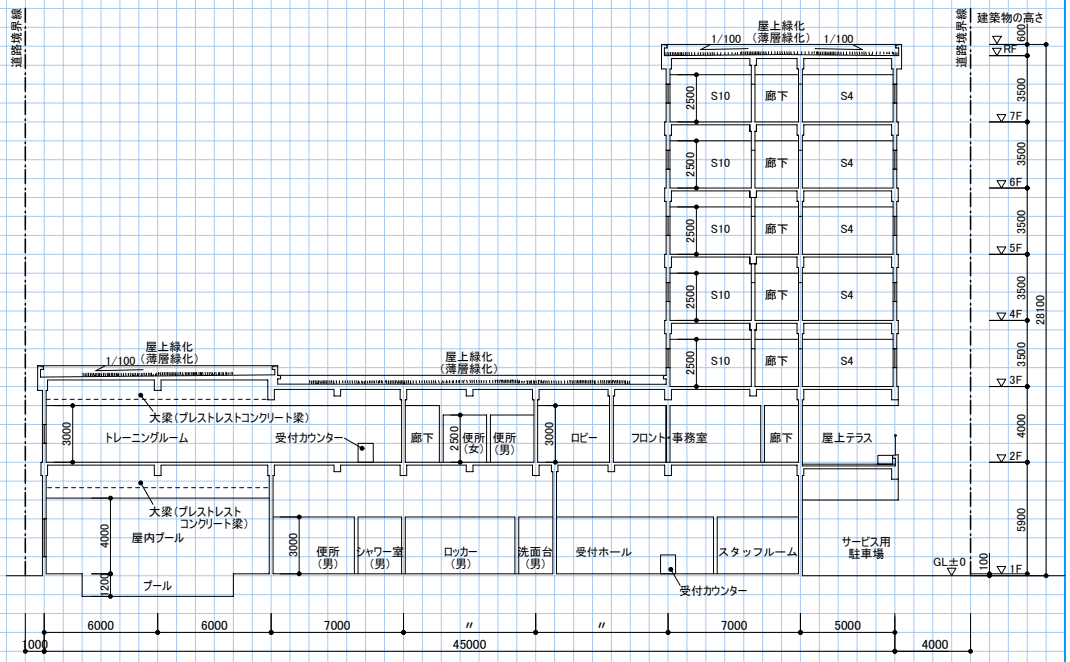
(2)2階平面図(縮尺1/200)



(3)基準階平面図(縮尺1/200)



(4)断面図(縮尺1/200)



計画の要点等(要求図面に該当箇所があれば、引出し線等により補足して明示する。)

①建築計画について、特に配慮したこと

エントランスホールの自由な通り抜けとういう課題条件から、敷地南東側の横断歩道を考慮して、1階の南東出入り口から、2階のベデストリアンデッキへの動線に配慮した。また、ホテルのセキュリティーに配慮して、ホテル部門の利用者用階段は、廊下側からのみの開放として計画した。

②構造計画について、特に配慮したこと

構造は鉄筋コンクリート造とし、大空間、無柱空間となる屋内プール、その上部に計画したトレーニングルーム、コーヒーショップの梁は、プレストレストコンクリート梁を採用した。また、構造的な経済性、安全性を考慮して、プレストレストコンクリート梁の上部には基準階を配置しない計画とした。

③建築物の環境負荷低減について、特に配慮したこと

大空間である屋内プールは、1階に配置し、上部に所要室を配置することにより夏場の空調負荷の上昇を抑える計画とした。また、中間期(春、秋)は出来るだけ自然通風により換気が行える計画とした。

④設備計画について、採用した空調方式とその理由

(空調方式) 屋内プール、エントランスホール:単一ダクト方式　　その他:個別方式

(理由) 大空間である屋内プールとエントランスホールは単一ダクト方式を採用したが、各々の温度管理を可能にするために、系統、空調機を分ける計画とした。また、その他の所要室に関しては、各部屋での温度管理、経済性を考慮して個別方式(空冷ヒートポンプパッケージ方式)とした。

面積表(算定式は、床面積の算出過程がわかるものであればよい。また、算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。)

床面積	3～7	階	{21×14+12×26−3.5×2(バルコニー)}×5	2,995.0 ㎡	合計
	2	階	33×26+7×19+5×6−14×4.5(吹抜)+14×2(エスカレーター)	986.0 ㎡	
	1	階	40×26+5×6−3×7(主出入口部分)	1,049.0 ㎡	5,030.0 ㎡